

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	複数臓器転移大腸癌における腹腔内治癒手術と化学療法の意義		
2. 対象患者	当科で二つ以上の臓器へ転移があった大腸癌症例に対して大腸の腫瘍切除を行なった患者さん		
3. 対象となる期間	2008年1月1日 ～ 2018年7月31日		
4. 実施診療科等	消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	萩原 悠介	所属 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	複数の転移を有する大腸癌において腫瘍の進行や症状を和らげる目的に大腸腫瘍そのものの切除が行われる場合があります。特に二つ以上の臓器へ癌が転移した患者さんへの手術の効果や抗癌剤の効果については報告が少なく議論が続いているのが現状です。手術や抗癌剤の効果のについて検討し有用性や問題点が明らかになれば今後の診療方針決定のになりうると考えております。		
8. 研究の目的	2008年1月から2018年7月の期間に、二つ以上の臓器に転移のある大腸癌の患者さんの中で腫瘍切除を行なった方を対象とし、診療録を利用し、病歴、年齢、身長、体重などの臨床所見、直腸癌の病理所見、術式、合併症などの手術関連情報を利用します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録から、病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、CTおよびMRI画像所見、術式、合併症などの手術関連情報を抽出し、効果について検討します。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 萩原 悠介		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080